OPC Toolbox

Getting Started

Version 4.2
Edition April 2008

softing
your connection to excellence

© 2008 Softing AG
本取扱説明書のいかなる部分も、Softing社から文書による許可を事前に受けることなく、何らかのかたちで転載、加工、複製、または配布することを禁じます。これに違反すると損害賠償が請求されます。
全ての権利、特に特許問題またはGM登録に関する権利は留保されています。
作成者は供給範囲ならびに技術的データに、事前に通知することなく変更を加える権利を有しています。
システムの設計、製造、検査における品質と機能的整合性には、最新の注意が払われています。しかしながら、存在する可能性のある潜在的なエラーとその影響については、責任を負わないものとします。特に、特定のアプリケーションに対するシステムの適合性に関する責任を負うことはありません。エラーを発見した場合は、その内容とそれが発生した状況について、担当の販売者までご連絡ください。全ての合理的な意見には敏感に反応し、必要に応じて追跡調査を行い、製品改善のための対策を講じます。
Printed in Germany 2008

Contents

1 **CD収録内容** 4

2 **インストールのオプション** 4

3 **ライセンス管理** 5

3.1 **ランタイムライセンス** 5

3.2 **デザインタイムライセンス（オブジェクトコードライセンス）** 6

3.3 **ソースコードライセンス** 7

4 **クイックガイド** 7

4.1 **OPC Toolbox** 7

4.2 **OPC Toolbox ActiveX** 8

1 CD 収録内容

SoftingのOPC Toolbox CDには、OPC開発ツールキットの正規版とデモ版の両方が収録されています。
OPC Toolbox V4.2 は、さらに 2 つの製品グループに分かれています。

OPC Toolbox – 収録内容

– DAクライアント

– DAサーバー

– WindowsおよびLinux用XML-DAクライアント

– WindowsおよびLinux用XML-DAサーバー

– AEクライアント

– AEサーバー

– クライアントおよびサーバー用Windows CE機能拡張

Windows CE機能拡張およびLinuxバージョンを除き、全てのツールキットはC++および.NETに対応

OPC Toolbox ActiveX – 収録内容

– DAクライアントコントロール

– AEクライアントコントロール

各製品グループは、別々にインストールされます。

2 インストールのオプション

Softing OPC Toolbox Ver. 4.2 CDをCDドライブに挿入し、インストールプログラムが起動するのを待ちます。

インストールプログラムが自動的に起動しない場合は、Windowsエクスプローラーを使用してのCDのルートディレクトリをブラウズし、Setup.exeをダブルクリックしてください。

*Installation Toolbox*を選択して、OPC Toolboxをインストールします。OPC Toolbox ActiveXコンポーネントをインストールするには、*Installation Toolbox ActiveX*を選択します。SoftingのOPC製品に関するさらなる情報は、CDの各該当オプションをクリックしてご覧になれます。

正規版のインストールは 2 つのステップで行えます。まず、*setup*がデモ版に付属する全てのコンポーネントをハードドライブにインストールします。次に、ライセンス管理行程で*setup*が追加ソフトウェアコンポーネントをハードドライブにインストールします（第 3 章のライセンス管理を参照）

注: デモ版OPCツールキットで開発されたOPC製品は、有効なライセンスを取得することでアクティブになります。

Softingの使用許諾契約書をよく読んだ上で*Accept*ボタンを選択し、インストール作業を進めてください。

インストールプログラムが、インストール行程に必要なコンポーネント（例: Windowsインストーラー）がコンピュータ上にあるかどうかを確認します。この結果は、インストールプログラムのユーザーインターフェースに表示されます（図 1 を参照）。

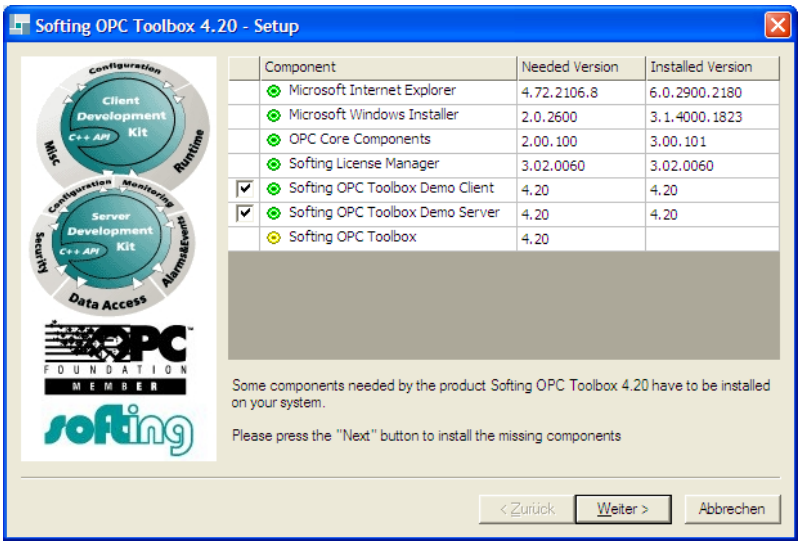

図 1: ユーザーインターフェース – インストールプログラム

*Installed Version*の列に表示される値は、インストールされるコンピュータの構成によって違います。不足しているコンポーネントは、製品本体のインストール前に全てインストールされます。必要に応じて、スタンドアローンのOPCデモクライアントおよびOPCデモサーバー（インストールプログラムのユーザーインターフェースであらかじめ選択済み）をインストールすることができます。インストール作業中は、画面上の指示に従ってください。基本コンポーネントのインストール完了後、OPCクライアントおよびサーバー構築用の全パッケージがインストールされます。

インストールされた*OPC Toolbox*は、*Softing\OPCToolbox\V42x*ディレクトリ内にあります。下位ディレクトリの*Softing\OPCToolbox\V42x\doc*には、英語によるオンラインヘルプが収められています。

OPCクライアントおよびサーバー開発（C++および.NET）のためのサンプルを含む全ファイルやライブラリは、下位ディレクトリの*Softing\OPCToolbox\V42x\Windows*に入っています。

*Installation OPC Toolbox ActiveX*を選択すると、Data AccessおよびAlarms and Eventsコントロール（OCXファイル）、英語またはドイツ語のオンラインヘルプ、およびサンプルアプリケーションがインストールされます。インストールされた*OPC Toolbox ActiveX*は、*Softing\OPCActiveX\V32x*ディレクトリ内にあります。下位ディレクトリの*Softing\OPCActiveX\V32x\samples*には、SoftingのActiveXクライアントコントロールをExcel、HTML、Visual Basicで使用するためのサンプルが収められています。

3 ライセンス管理

インストール作業中には、製品グループ内の全製品がハードドライブにコピーされます。デモ版の機能（ランタイム制限付き）はすぐにご利用いただけます。正規版のOPC Toolbox（制限なし）は、製品アクティベーション（ライセンス認証）が必要です。
OPC Toolbox で利用できるライセンスには 3 種類があります。

3.1. ランタイムライセンス

ランタイムライセンスは、コンピュータ上の OPC Toolbox または OPC Toolbox ActiveX の全機能を有効にします。OPC Toolbox または OPC Toolbox ActiveX のデモ版を元に開発されたクライアントまたはサーバーアプリケーションは、1 台のコンピュータ上で Softing License Manager を用いて有効にすることができます（図 2 参照）。該当するショートカットはプログラムメニュー内にあります。License Manager を初めて起動したら、コンピュータを特徴付けるためのキーを作成する必要があります。製品のランタイム版には、Softing License Manager に入力すると製品を一時的（例: 14 日間）に有効にできるテンポラリーライセンスキーが同梱されています。最終アクティベーションには、Softing License Manager でノードロックインストールキー（コンピュータのフィンガープリント）を生成する必要があります。*Request License* ボタンを押して全ての必要な情報を入力し、*Create eMail* または *Copy to Clipboard* ボタンを押し、license.ia@softing.com へメールを送信します。Softing から最終**ライセンスキー**が返信されます。この最終ライセンスキーを License Manager（*Enable Product* ボタン）に入力し

、製品の最終アクティベーションを行ってください。このプロセスに関する詳しい解説については、Softing License Manager のオンラインヘルプをご覧ください。
ソフトウェアライセンスキーの代わりに、ランタイムライセンスをポータブル・ドングルで有償によりご利用いただけます。Softing は、**USB およびパラレルポート・インターフェース用のドングル**（LIC-USB-1）をご用意しています。

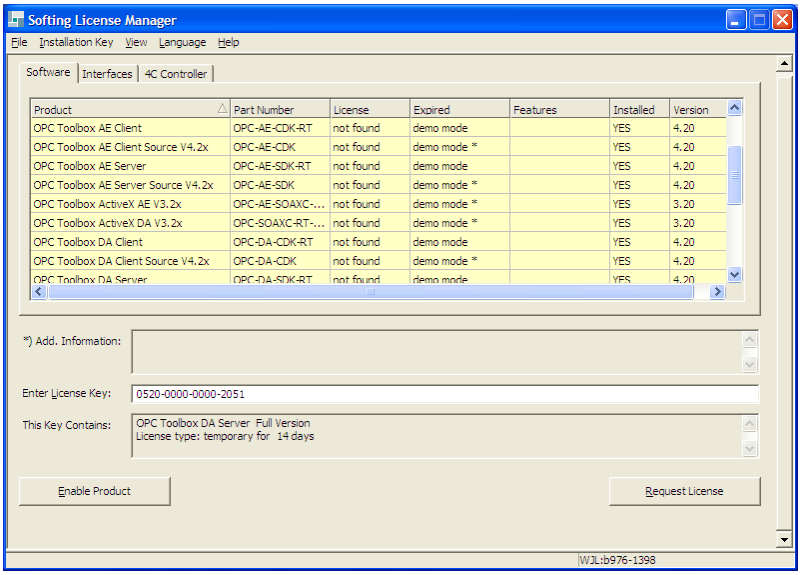

図 2: Softing License Manager

3.2. デザインタイムライセンス（オブジェクトコードライセンス）

OPC Toolbox および *OPC Toolbox ActiveX* のデザインタイムライセンスは、OPC Toolbox コアライブラリ（OTB）または OPC ActiveX コントロールの全機能を有効にする、シングルシート開発ライセンス（ソースコードなし）です。シングルシート・デザインタイムライセンスに基づき、1 台のコンピュータ上でいくつもの OPC クライアントまたはサーバーを開発することが可能です。デザインタイムライセンスで開発された OPC クライアントおよびサーバーは、追加ランタイムライセンスなしに、どのコンピュータへも自由に導入することができます。
デザインタイムライセンスキーは、同梱の Softing ライセンスシートに記載されています。デザインタイムライセンスキーは、アクティベーション手順の中で OPC アプリケーションのコード内に入力してください。詳しい解説は OPC Toolbox オンラインヘルプ内の *Programmer's Guide/Licensing and License Activation*（図 3 参照）、または OPC Toolbox ActiveX オンラインヘルプ内の *Programmer's Guide/Data Access/Activation Softing Client Controls* に掲載されています。

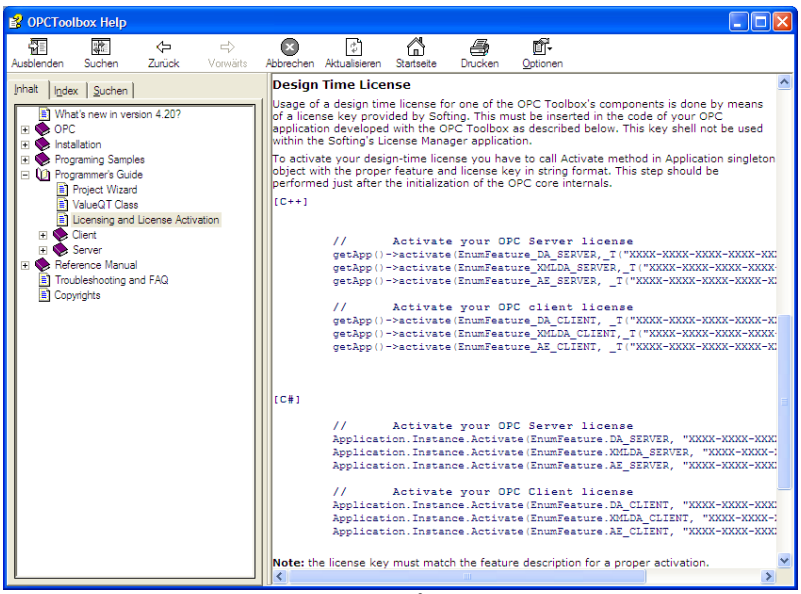

図 3: OPC Toolbox オンラインヘルプ – ライセンスアクティベーション

3.3. ソースコードライセンス

OPC Toolbox のソースコードライセンスは、OPC Toolbox の全機能を有効にする、シングルシート開発ライセンスです。シングルシート・ソースコードライセンスに基づき、1 台のコンピュータ上でいくつものOPC クライアントまたはサーバーを開発することが可能です。ソースコードライセンスで開発されたOPC クライアントおよびサーバーは、追加ランタイムライセンスなしに、どのコンピュータへも自由に導入することができます。

ソースコードライセンスキーおよび**デザインタイムライセンスキー**は、同梱の Softing ライセンスシートに記載されています。**デザインタイムライセンスキー**は、アクティベーション手順の中で OPC アプリケーションのコード内に**入力**してください。（3.2 も参照）。**ソースコードライセンスキー**は、Softing License Manager に**入力**してください。*Enable Product* ボタンを押して、コンピュータ上にソースコードを展開します。

注: OPC サーバーまたはクライアントの開発のために、OPC Toolbox ソースコードの展開は必ずしも必要ではなく、デザインタイムライセンスキーによるアクティベーションで充分です。

注:
デザインタイムまたはソースコードライセンスを、他の未登録のコンピュータに渡すことは許可されていません。デザインタイムまたはソースコードライセンスを第三者、例えば下請会社に譲渡する場合は、Softing 社への通知と正式な合意を得ることが必要です。

4 クイックガイド

インストールが完了したら、直ちにデモ版ツールキットを使用することができます。

4.1. OPC Toolbox

インストールされたサンプルを含むライブラリやファイルは、インストールディレクトリ *Softing\OPCToolbox\V42x*の下位ディレクトリに収められています。

インストール中、プログラムグループがコンピュータのスタートメニューの中に作成されます。その中にオンラインヘルプや、OPC Toolbox Project Wizardへのリンクをみつけることができます。

ツールの使い方はオンラインヘルプ内のプログラマーガイドに記載されています。*サンプル*ディレクトリにはC++および.NETプログラミング用のサンプルが入っています。

OPC Toolboxプロジェクトウィザード（図 4 参照）を使って、OPCクライアントまたはサーバー開発の時間と手間を大幅に削減してください。ほんの数ステップで、完全準拠のOPCクライアントまたはサーバーを作成することができます。新しいOPCアプリケーションをデバッグあるいは製品として実行するには、適切はOPC Toolboxライブラリを新規OPCプロジェクトにコピーする必要があります。

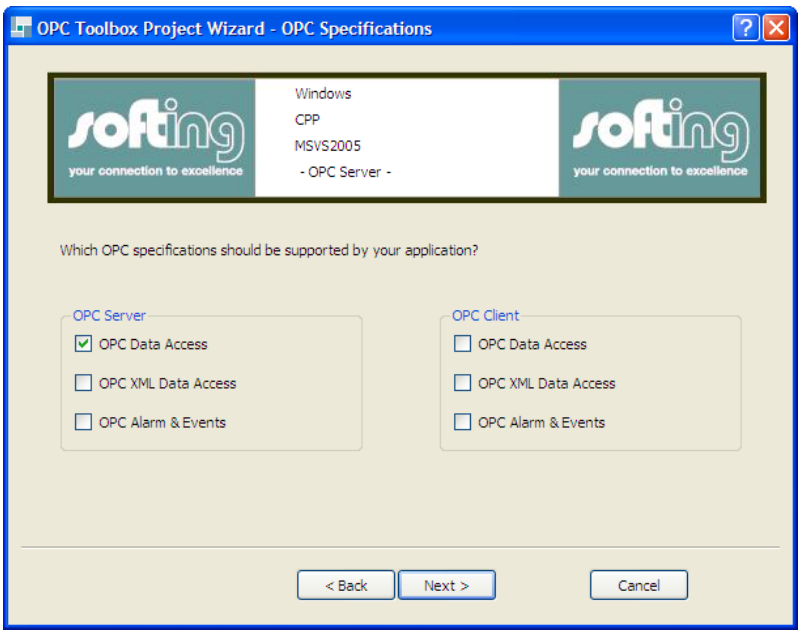

図 4: OPC Toolboxプロジェクトウィザード

4.2. OPC Toolbox ActiveX

インストールされたファイルはインストールディレクトリ*Softing\OPCActiveX\V32x*の下位ディレクトリに収められています。

インストール中、プログラムグループがコンピュータのスタートメニューの中に作成されます。その中にサンプルプログラムやヘルプファイルへのリンクをみつけることができます。

まずはオンラインヘルプをご一読ください。コントロールの使用法は、オンラインヘルプ内のプログラマーガイドで解説されています。サンプルは *サンプル*下位ディレクトリの中にあります。